



小森 隆一 議員(公明党議員会)

フェーズフリーの概念に基づいた 市内防災力強化の重要ポイントについて

Q フェーズフリーの概念に基づいた市内防災力の強化を進めるうえでの重要ポイントを伺いたい。

A フェーズフリーの概念に基づく防災力の強化として、災害対応の先進国であるイタリアでは、災害発生から48時間以内にトイレ、キッチン、ベッドの機能を被災地に提供することが重要視されており、石破総理もこの頭文字を取って「TKB48」をしっかりと避難所に確保していく旨の発言をしています。

本市でも、そのようなことを踏まえた上で、市の防災用設備の整備や施設への防災機能の付加といった取り組みのみならず、キッチンカーの活用といった官民連携や、電気自動車の普及など、社会全体における仕組みづくりを検討していきたいと考えています。



鶴見 義明 議員(日本共産党議員団)

災害時、孤立の可能性がある対象地域への 周知について

Q 県の令和6年度の調査では、災害時に孤立する可能性のある集落は15市町で54集落、市町別では佐野市が90集落という調査結果だった。この90か所の対象地域について、周知はされているのか。また、災害時の対策はどのように考えているのか伺いたい。

A 周知については、県と協力し、令和7年度に啓発リーフレットを配布したいと考えています。また、対策については、基本的に防災用設備は可搬式とし、トイレトレーラーや可搬式浄水器のほか、電源設備、通信機器、冷暖房機器等を想定しています。

平時においても、フェーズフリーの概念に基づき、官民連携や電気自動車

佐野市議会 議会中継 (令和7年)

「令和7年第4回(6月)定例会・常任委員会 - 06月10日 議案質疑」からご覧になれます。




山菅 直己 議員(政友みらい)

1期目での反省点について

Q 「市議会と市長である私が市政運営の両輪として、しっかり市民の負託に応えられるよう、お互いの思いを尊重し、関連に議論を交わしながら、市民のためのより良い市政の実現を目指します」と言われたが、1期目で反省している点はあるのか伺いたい。

A 1期目については、コロナ禍でのスタートだったため、感染症拡大防止の観点から、市民の皆様や市議会の皆様と直接意見交換する機会をあまり設けることができなかつたと反省しています。

今後については、今まで以上に市民の皆様や市議会の皆様との意見交換を行うことで、信頼関係を構築し、より良い市政の実現を目指していきます。



長浜 成仁 議員(佐野市の明日をつくる会)

持続可能な財政運営の仕組みについて

Q 持続可能な財政運営の仕組みを構築していくことに関して、公共施設の見直し以外の事業の見直しについてどのように考えているのか伺いたい。

A 持続可能な財政運営の仕組みを構築していくことに関し、具体的には、市民ニーズを的確に捉え、事業の成果を測りながら、市民サービスの低下につながらないよう配慮する一方で、時代にそぐわない事業や役割を終えた事業を見極め、説明責任を果たした上で、事業のスクラップ・アンド・ビルドを積極的に推進し、真に必要な事業に予算を配分していきたいと考えています。